

さいたま

Nursing

2019.1.29 NO.118



Contents

新年のごあいさつ P2・3

- * 埼玉医療安全大会・看護研究学会 P4
- * 組織強化委員会より P5
- * ナースセンター P6~7
- * お知らせ P8

会員数	24,612名
保健師	465名
助産師	900名
看護師	22,487名
准看護師	760名
対前年度比	1,457名増

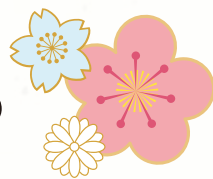
(H30.11.30現在)

表紙: ホテルプリランテ武蔵野にて





新年のごあいさつ



公益社団法人埼玉県看護協会
会長 熊木 孝子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃から協会活動に対するご理解・ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、埼玉県看護協会の会員数は、平成30年11月30日現在、24,612人となりました。今後とも組織強化に向けて努力して参りますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年度の重点事業の主な進捗についてご報告いたします。平成30年度重点事業の中でも重要課題としました「地域包括ケアシステムの看護提供体制の構築」につきましては、地域包括ケアは全世代が対象となっており、今年度も3職能4委員会が中心となり合同で検討会を継続し、「子どもの虐待」に焦点を当てて取り組んでいるところです。2月に研修会を開催予定です。次に、「看護職の確保定着事業の推進」では、代表的なWLB推進事業を埼玉県と共同で開催し9年目を迎えました。2月15日には取り組みの成果発表会と併せて「働き方改革をふまえてのこれから」と題して研修会を開催いたします。さらに、「職能委員会の機能強化」では、保健師・助産師・看護師各職能の専門性を強化した研修会を実施しております。また、助産師の出向支援導入事業は3年目を迎え、今年も3件のマッチングが成立し実施中であり、さらに2月から1件開始されます。

また、昨年に引き続き、看護師職能委員会Ⅱの活動として、病院以外の介護老人福祉施設や介護老人保健施設そして地域で働く看護職・介護職員の質の向上に向け、看取りの研修会を実施しました。その他の重点事業も順調に経過しており、更なる発展につなげて努力して参ります。

新研修センターでは、3月に日本医療マネジメント学会埼玉支部学術集会が開催され、6月には通常総会、さらに12月には埼玉看護研究学会が開催されるなど、多岐にわたり看護活動の拠点として有効活用されております。

埼玉県看護協会は、今年の干支である亥の「猪突猛進」の言葉にあやかり、勇猛果敢に目的に向かって突き進み、会員の皆様のニーズに応えられるよう、困難を乗り越え実り多く充実した成果が得られるように努力してまいります。

今後とも会員の皆様のご協力・ご支援を賜ります様をお願い申し上げますと共に、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念し新年のあいさつとさせていただきます。



副会長 石川 治美



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成30年度は、ファーストレベル「看護管理の概要」の講師を務めさせていただき、改めて看護の歴史を学ぶ良い機会を与えていただいたと感謝しております。歴史を学ぶ意味は、①過去の失敗から学ぶため ②時代の変化、社会の変化に翻弄されずに、これから何が起こるのか、何か起きた時のために今何をしなければならないのかを考えるため ③今私達が行っている事は正しい事なのか、自分で考える重要性に気づくためだと言われています。埼玉県看護協会には、70年の歴史があります。新たな年号を迎えようとしている今を託されている私達は、先輩会員の皆様が70年という年月をかけて築き上げてきた歴史から多くの事を学び、今何をしなければならないのか、今行っていることは正しいことなのかを良く考え、目標を見失わず、達成へと導かなければならないと痛感しています。私にとって、副会長としての歴史は3年ですが、この3年で学ばせていただいたことを糧に、今後も協会活動が会員の皆様にとってより良いものになるよう尽力していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長 山中富美代



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成30年度は副会長として2年目を迎え、看護協会の様々な活動に関わらせていただき、協会事業の発展を期し、努めております。

少子高齢社会が進展し、保健、医療、福祉の人的資源と財源が限界を迎えている中で、県民の生活・医療・介護ニーズは増大しており多様化・複雑化を極めております。

地域包括ケアシステムの構築を推進する中で、訪問診療や訪問看護の充実が課題となり、実践能力の高いジェネラリストや専門能力を発揮できる認定看護師等が在宅の現場ではさらに必要とされています。看護職の皆様の力を発揮する時代だと思います。

今年は亥年、革新・変革を目標に「猪ベーション」で積極的に行動し、会員の皆様と共に歩んでまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

コラム

年末年始に必要な迫られ、看護職生涯発達学という新しい領域を構築した佐藤紀子先生の『師長の臨床一省察しつつ実践する看護師は師長をめざす』（医学書院）を読んだ。お屠蘇気分も吹っ飛び、改めて看護の本質を考え、看護協会と自分自身の役割を省察し襟を正す機会となった。帯の「師長になっても私は看護師。」という一文も心に残った。「看護師は管理者になる過程においても、管理者になっても、その役割の根底にあるものは変わらないのではないか。看護の責務がそうであるように、師長にとっても第一の責務は、『患者や家族にとって必要なケアの保証』である。師長という役割を担う看護師たちを支えている拠り所、それは看護師としての実践であり、さらに他の看護師たちが得た知見に触れ、師長としての立ち位置を確認し、ぶれない看護管理を実践してほしい」と願いが込められていた。看護職が実践を語り、記述し、看護の本質を考える機会を設けていきたい。（専務理事 村木京子）

第12回 埼玉医療安全大会 ～地域と考える医療安全～

11月17日に埼玉医療安全大会を開催しました。

はじめに、7日間の医療安全管理者研修を修了し、実践報告を経て選抜された多田由美子氏、志摩幸枝氏、四戸岸芳子氏より成果発表がありました。

つづいて、厚生中央病院 院長補佐であり、医療安全管理室ご担当である荒神裕之(こうじん ひろゆき)氏より「共に創る医療～チームと対話による安全と質の構築～」をテーマに、体験型コミュニケーション演習が取り入れられた講演がありました。初対面の方と非言語的コミュニケーションで握手をする、相手の話を傾聴するなど、受講者が参加する場面が多く、皆さんが笑顔になりました。価値共創、コンフリクト・マネジメントの理解も深めることができ、「明日から病棟スタッフに周知して使っていきます」「多くの事例や演習があり分かりやすかった、患者さんの側からの視点を心がけようと思います」という前向きな感想が多く寄せられました。

大会全体をとおして「言い出せない環境にすることなく、心理的安全性を確保できるような環境の創造に努めるべきだと感じた」等、これから先の医療安全への取り組みにつながる感想をいただけたことが大きな成果であったように感じております。第13回埼玉医療安全大会は、11月の開催を予定しています。

〈医療安全推進委員 岡田和子〉

参加者の声

荒神先生の講演内容から、看護師として、人としてこれまでの自分たちの患者さんとの関わりを振り返ることができました。また、これから先、多角的に物事をとらえ患者さんとの関わりを考えることの大切さを学びました。質疑応答では、看護学生さん達の純粋でかつ鋭い真剣な質問が飛び交い未来の看護界の更なる発展を期待することができたように感じます。



第26回 埼玉看護研究学会

12月1日に平成30年度の埼玉看護研究学会を開催しました。西大宮の看護協会研修センターでの開催も2回目になりました。本年度は演題登録数47題、参加人数533名でしたが、回数を重ねるごとに本学会への関心が高まっていることを感じています。

田中志子(たなか ゆきこ)氏による特別講演、荒木美千子(あらき みちこ)氏のワンポイント・レクチャー、そして演題の発表と熱のこもった一日となり、参加者の方からは「多職種、他施設等、連携に関する事柄が多く、情報共有に良かった」という意見や、「看護の基本や患者さんの思いを改めて考えるきっかけとなった」という言葉をいただきました。

看護研究は、看護師にとって欠くことが出来ません。毎日の看護業務の中から問題や疑問などに気づき、看護の質向上や業務改善に繋げていくための第一歩となります。常に探究心を持ち、主体的に看護研究に取り組んで行こうとすることが大切になります。そこから、「看護研究をやってみよう!」「発表してみよう!」と思った時が、チャンスです。その気持ちと行動を学会委員会では応援いたします!! 来年度の第27回埼玉看護研究学会は12月の開催を予定しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

〈学会委員 大竹冬香〉

参加者の声

急性期から慢性期へと実際の現場でとても参考になる身近な内容が多くなったと思います。また、特別講演の田中志子先生からは認知症看護の好事例を交えたお話を伺うことができ、未来にひろがる認知症看護を再認識する機会となりました。



奨励賞受賞者

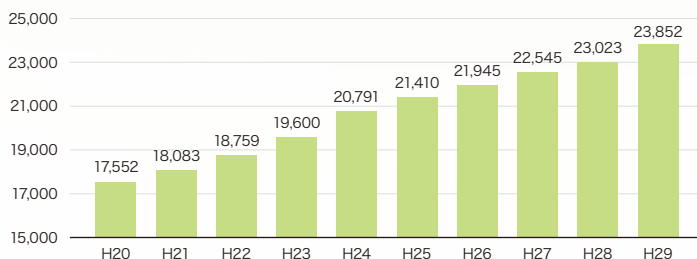
会員を増やす!

<組織強化委員会>

私たちの心の根底に「患者さん・利用者さん・地域の方に、より適切なケアを提供したい」という思いがあります。志高く日々研鑽に励む看護職の拠り所として強い組織でありたい—埼玉県看護協会はそう考えています。強い組織とは何か、それはプロとしてのスキルアップをサポートすることができる組織、また看護の現場でおこる“困った”を解決することができる組織と考えます。協会では、看護職が抱える様々な要望に応えるべく、組織力を高めるための活動を行っています。その一環として、現在重点を置いているのが「会員数を増やすこと」です。会員数が増えることで様々なことが可能になります。

入会率 埼玉県看護協会：36% 全国平均：46%

会員数の推移



会員を増やすことは、患者・利用者さまや地域の方の笑顔を増やすことになります

看護の質向上が可能になる

- ・より良い研修、より多岐にわたる研修の開催が可能になる
- ・自己研鑽の支援をうける機会を持つことが、目指す看護を可能にする
- ・より多くの受講機会提供が可能になる



働く環境を整える大きな力を得る

- ・会員数UPは職能団体としての存在感UPを可能にする
- ・会員数UPは発言力・交渉力UPを可能にする

会員数UPは、安心して
働き続けることを可能にする



うれしい会員メリット

- キャリア構築を支援してくれる「キャリアナース」の利用
- 専門研修やラダーに合わせたカリキュラムなど質の高い研修が会員価格で
- 日本看護協会の図書館をいつでも活用
- オンラインでの文献検索
- 協会を各種相談窓口として活用
- 看護職賠償保険に団体料金での加入
- 各種優待特典多数
(サンリオピューロランド、帝国ホテルレストラン、富士急ハイランド、ホリプロ舞台等)

※「キャリアナース」は日本看護協会HP参照

組織強化委員会より

昨年より各所に赴き会員数を増やす活動を行ってきました。作成したリーフレットを持参し、埼玉県看護協会の使命をお伝えし、協会員が増えることで個人および職能全体が獲得するメリットについて丁寧に説明しました。多くの施設で共感いただき、入会者が増えました。入会促進活動を進める中で、看護協会への要望を聞くこともできましたし、新たな課題発見もいたしました。今後も、埼玉県の看護職職能団体として、皆さんとともに組織力を強化し、「県民の健康の増進と維持」という協会のミッションを果たしていきたいと考えております。

現会員の皆さまには、お力添えをいただけますようお願いいたします。



“看護のしごと”に関するご相談はお任せください!!

埼玉県ナースセンターは、埼玉県から委託を受けて運営している看護師等無料職業紹介事業所です。仕事を探す看護職や、卒業予定の看護学生、人材を求める施設を対象に無料で職業紹介をしています。私たちは、対面や電話での丁寧な相談を心掛けています。

・看護職の無料職業紹介

- ① eナースセンターによる求人求職登録、職業紹介
- ② 看護職の就業相談員による就業相談

・再就業支援等の研修の実施

- ・その他各種相談
(進路相談・職場の悩み相談など)

〈case I〉 **ブランクからの復職**



A子さん

はじめてお電話するA子さんです。ブランクが長いのですが、また看護師として働きたいと思ったのですが…就職活動の方法がよく分からなくてご連絡しました。

A子さん、ナースセンターへのご連絡ありがとうございます。久しぶりにお仕事をされようと考えられたんですね。差し支えない範囲でご自身のことを教えてくださいませんか？

出産を機に仕事を辞めて育児に専念していました。ブランクは6年くらいです。子供が小学生になるので、仕事を再開したいと思っています。

以前は、どんな形で看護の仕事に携わっていらっしゃいましたか？

前は、大学病院の病棟で働いていました。でも、ブランクがあるから技術面でとても不安があります。採血なんかもずっとやってないの…

大丈夫ですよ。技術に不安があるようでしたらナースセンター主催による復職支援研修の「技術講習会」にご案内することができます。

それは、ぜひ参加してみたいです。

A子さんにお勧めするのは、「再就業技術講習会」です。施設で受けることができるため、現在の看護現場の実際を体感していただくことができますよ。

施設に行って体感できるなら、働き方を選ぶ参考になりますね。ところで…実は不安があります。働きたいとは思っていますが、子供が小さくて時間が限られてくるんです。そんな条件でもお仕事をさせてもらえる施設ってあるのでしょうか。

働く時間についてのご希望があるんですね。埼玉県ナースセンターは、看護職である相談員が施設との連携を図っています。ですから、Aさんの希望にそった施設に就職できるよう支援させていただきます。



ナースセンター



そうなんです。今後はどうしたらいいですか？

まずは、求職登録していただきます。埼玉県看護協会のホームページ内にある「eナースセンター」(※)へアクセスして登録をしてください。これまでの看護経験や、働き方のご希望を入力していただきます。



求職登録が終わったら、どうなりますか？

「eナースセンター」に登録が完了しましたら、求人施設の情報(勤務時間・給与・勤務内容・福利厚生等)をインターネットで閲覧することが可能になるので、検索してください。



いいなと思う施設があったら、相談してもいいですか？

もちろんです。施設によっては見学も可能ですし、面接の日程調整などのご相談を受けることもできます。それ以外でも、何かありましたら相談してください。



ありがとうございます。よろしくお願いします。



本日は、ご連絡いただきありがとうございました。

※eナースセンターとは??

ナースセンターで行っている無料職業紹介をインターネット上で利用できるようにしたものです。

- ♪お仕事探しの強い味方
- ♪全国の情報が検索できる!
- ♪ナースセンターにいけない時でもインターネットで活動できます!



お仕事探し登録	1 求職者登録	2 希望条件登録	3 求人検索	4 紹介・応募	5 見学・面接
	PC、スマートフォン等からアクセスし、IDを申請し、求職者情報を登録する。	登録したID・パスワードでログインし、希望する雇用形態や業務内容、勤務地などを登録する。	希望条件をもとに求人施設の情報を検索する。	希望の求人にシステム上で応募もしくは、埼玉県ナースセンターへ紹介応募を依頼する。	応募した求人施設と日程を調整し、見学・面接する。

※登録は、用紙の郵送や来所でも可能です。

ナースセンター利用者の声

益子病院 浦野美奈 様 (ブランク9年からの復職)

就業にあたり、知識や技術面の不安が大きかったのですが、再就業支援の講習会などをおとして前進するきっかけをもらえました。講習会当日に子供が発熱してしまった時も、ナースセンターの方が病院と講習会の日程を調整してくれました。

ナースセンターの方の熱心な対応と、病院側の柔軟な体制に興味と期待が膨らみ、そのまま見学、面接、採用となり、スムーズに就職活動を完了しました。ブランクが長く、就業できる時間に制約があった私でしたが、ナースセンターの方が病院側としっかり話をしてくれていたことが良い結果を出してくれたと感じています。



◆◆ 埼玉県ナースセンターご案内 ◆◆

【アクセス】 埼玉県看護協会研修センター内
(西大宮駅 徒歩4分)

【相談受付】 月曜日～土曜日 / 9:00～16:00
(日・祝は休業)

【電話】 048-620-7337 (直通)

□公益社団法人埼玉県看護協会 (<https://www.nurse-saitama.jp/>)

□埼玉県ナースセンター
(http://www.nurse-saitama.jp/about_nursecenter/)

QRコードから埼玉県ナースセンターの
サイトに直接アクセスができます



平成31年度 埼玉県看護協会通常総会

日時：2019年6月15日（土）10:00～
会場：埼玉県看護協会研修センター（西大宮）

1

看看連携の先に見えたもの 好事例に学ぶ

〈看護を考える委員会交流会〉

- 【日 時】平成31年2月2日（土）
13:00～16:00（受付12:30～）
- 【会 場】埼玉県看護協会研修センター（西大宮）
- 【対象者】退院調整に関わっている看護職
看護管理者／地域で働く保健師／
訪問看護ステーション管理者
- 【参加費】無料
- 【内 容】1. 地域包括システムの実際の連携
〈講師〉
春日部医師会 会長 山崎 典之氏
埼玉県医療整備課 在宅医療推進担当 主幹 小暮 徹氏
埼玉県訪問看護ステーション協会 会長 三塩 操氏
2. グループワーク

2

地域包括ケアシステムの推進 虐待から子どもを守る親支援

〈3職能4委員会合同研修会〉

- 【日 時】平成31年2月23日（土）
13:30～16:30（受付12:30～）
- 【会 場】埼玉県看護協会研修センター（西大宮）
- 【参加費】会員・非会員 1,000円
- 【内 容】1. 講演
“母”ではなく“父”ではなくて“親”になる
ーそれを支える看護職活動とはー
〈講師〉
社会福祉法人子どもの虐待防止センター評議員
日本子ども虐待防止学会理事
とよたまこころの診療所 精神科医 鷲山 拓男先生
2. グループワーク
今看護職に何ができるか

〈申込方法〉埼玉県看護協会ホームページから申込
<https://www.nurse-saitama.jp/>

（インターネット環境が無い場合は、お問合せください。）
TEL：048（624）3300

平成31年開催 支部総会 日程一覧

支 部	開催月日	開催時間	場 所	支 部	開催月日	開催時間	場 所
第1支部	4月19日（金）	14:00～16:30	熊谷文化創造館 さくらめいと	第6支部	4月13日（土）	13:30～16:00 教育セミナー含	埼玉県看護協会研修 センター（西大宮）
第2支部	4月13日（土）	13:00～16:00	坂戸グランド ホテル	第7支部	4月12日（金）	18:30～20:30	川口総合文化 センターリリア
第3支部	4月27日（土）	13:00～16:00	ウェスタ川越	第8支部	4月27日（土）	14:00～16:00	春日部市民文化会館
第4支部	4月13日（土）	13:00～14:00	国立リハビリテ ーションセンター 4F	第9支部	4月20日（土）	13:25～16:00	獨協医科大学 埼玉医療センター
第5支部	4月13日（土）	13:30～16:00 講演会含	桶川市 さいたま文学館				

ありがとう
ございました

心臓移植を必要としている、さいたま市在住のりく君（3）を支援するための募金
活動が目標額に達し、先日渡りました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

編集後記

広報委員会

70周年記念号で読者アンケートを掲載したところ、沢山のご回答を頂きました。インターネットでの回答のみではなく、はがきでご回答下さった方もいました。これまで、会報を配布した後に皆様の声を聴く機会が少なかったため、直筆でのお便りの返信にはとても感激しました。会報誌は、会員の皆様と看護協会を“つなぐ”ものでありたいと考えている担当者一同にとって、皆様からの反響は、編集の評価になると共に次回号への制作活力ともなります。これからも皆様からの貴重なご意見を大切に、広報の役割を担って行きたいと思います。

広報誌「さいたま」118号はいかがでしたか？アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆応募締切：3/31（日）まで
- ◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1) 興味をひいた記事はありましたか？
- 2) 昨年は、どんな研修を受けましたか？
- 3) 今年は、どんな研修を受けたいですか？
- 4) 英会話研修に興味はありますか？
- 5) あなたが考える新元号を教えてください。



回答はこちら！

